



[付属品] CFカード 256MB 1枚

■特長

- AC100V 電源 (またはDC+24V/12V 電源)
- EIA1U ハーフサイズ 210W×164D×44Hmm
- ライン出力 600Ω 不平衡
- LINE IN スルー/カット機能
- スピーカー出力 0.5Wmax.8Ω
- WAVE ファイル 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono
- CF カード採用 32/64/128/256MB
- 登録時間 44/88 分 max
- プログラム登録対応(組立再生・リピート回数)
- 8CH-接点制御
再生モード:通常/後入力/入力中/優先順位
- インターバルタイマー:0-15 分
- ディレイタイマー(外部機器連動用) 0/3 秒
- 自己復旧機能(ウォッチドックタイマー利用)
- 外部出力 BUSY(再生中)・ALM(CPU 異常)
- 無償 WEB 配布-エディタソフト VoiceNavi Editor
- テキスト入力音声データ作成ソフト
VoiceNavi Announcer 対応
- WRX7000 シリーズを録音ツールに使用できます

■サポートソフト

エディタソフト

VoiceNavi Editor 1J/2J [無償 WEB 配布]



録音または既存の音源データ (WAVE ファイル) を登録して、WAV/WRX シリーズ用のカードデータを作成できます。その際、組立再生・リピート回数などのプログラムができます。

組立再生 1 接点-8wave max.
リピート回数 1 接点-5 回 max.

■商品概要

WRX6000 は、音源データに「WAVE ファイル」、記憶媒体に Flash カード「コンパクトフラッシュ」を採用、8 接点制御、用途別の再生モード・タイマー、登録時間 44/88 分 max、600Ωライン出力、0.5W アンプ搭載、LINE IN スルー/カット機能、EIA1U ハーフサイズのアナウンスマシンです。

音源データ(WAVE ファイル)の登録は無償 WEB 配布の登録エディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)上で行います。

WAV3000 の後継モデルです。

■主な用途

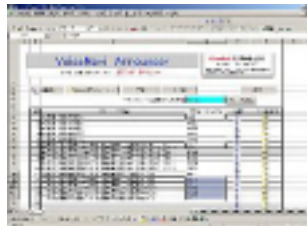
- 電車接近放送の音源部
- ダム・水門放流警報の音源部・
- 広域防災放送の音源部・
- ホール放送の音源部・
- 無線インターカムシステムの音源部・
- 構内 PHS システムの音源部・

●WAV3000 後継機

(注)一部の再生モード、タイマー時間、機能が搭載されていません

<テキスト入力>アナウンサーソフト

音声データ作成ソフト 2J [有償]

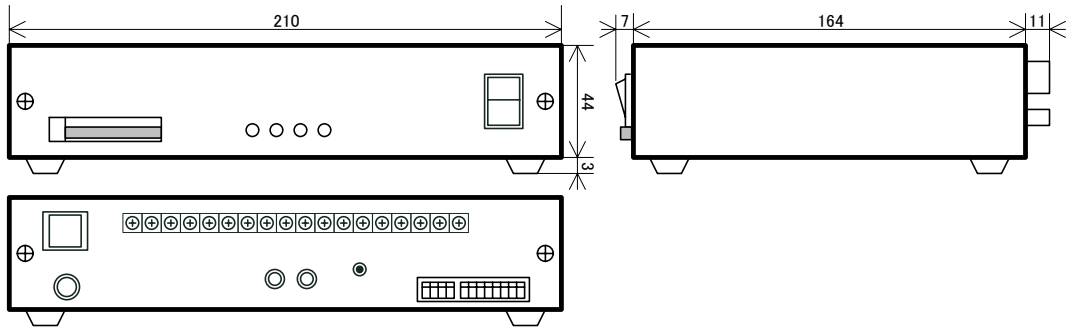


Excel 上でテキスト入力・試聴・音声データ(WAVE ファイル)保存できます。

■標準仕様

定格使用電圧	AC100V 50/60Hz AC 電源コード または DC+24V±5% (または DC+12±5%) M3 端子台																													
消費電流	AC100V 時 待機時 約 9W 最大時 約 13W DC+24V 時 待機時 約 150mA 最大時 約 230mA DC+12V 時 待機時 約 200mA 最大時 約 380mA																													
寸法・重量	210W X 164D X 44H mm 突起部含まず 約 2kg EIA 1U ハーフサイズ																													
塗装・仕上	グレー 焼付塗装																													
使用環境	使用時: -5°C ~ 55°C 35% ~ 80%RH 保存時: -10°C ~ 70°C (但し結露なき事)																													
再生方式	WAVE ファイル 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit mono PCM																													
再生帯域	300 ~ 10KHz																													
音声出力	LINE 出力 600Ω 0dBm RCA ピン SP 出力 0.5Wmax.8Ω M3 端子台																													
LINE IN スルー / カット機能	入力時 1KΩ 0dBm(max) RCA ピン コネクタ: CN1 通常時: スルー(通過) カードデータ再生時: カット(LINE IN レベル 0)																													
音量調整	SP 出力 リアパネル可変 VR (シャフト式) LINE 出力 ボード上半固定 VR3 -3dB ~ 8dB																													
適用カード	Flash カード「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB 1 枚 max.																													
登録 CH 数	8CHmax																													
	カード容量とサンプリングによる <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード容量</th> <th colspan="2">44.1KHz</th> <th colspan="2">22.05KHz</th> </tr> <tr> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32MB</td> <td>5.6 分</td> <td>11.2 分</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> </tr> <tr> <td>64MB</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> </tr> <tr> <td>128MB</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> </tr> <tr> <td>256MB</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> <td>89.6 分</td> <td>179.2 分</td> </tr> </tbody> </table>	カード容量	44.1KHz		22.05KHz		16Bit	8Bit	16Bit	8Bit	32MB	5.6 分	11.2 分	11.2 分	22.4 分	64MB	11.2 分	22.4 分	22.4 分	44.8 分	128MB	22.4 分	44.8 分	44.8 分	89.6 分	256MB	44.8 分	89.6 分	89.6 分	179.2 分
カード容量	44.1KHz		22.05KHz																											
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit																										
32MB	5.6 分	11.2 分	11.2 分	22.4 分																										
64MB	11.2 分	22.4 分	22.4 分	44.8 分																										
128MB	22.4 分	44.8 分	44.8 分	89.6 分																										
256MB	44.8 分	89.6 分	89.6 分	179.2 分																										
再生時間	登録時間またはエディタソフト上でプログラム登録した場合はその内容																													
制 御	リアパネルのモードスイッチで設定 ■接点制御: 8CHmax. IN: /1-8 /STOP /OP/REC 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT: /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 (DC+50V 500mA) (再生モード) 通常再生/後入力切替/優先順位/順番再生																													
タイマー	リアパネルのモードスイッチで設定 (適用再生モード) 通常再生モード ■インターバルタイマー: 0 ~ 15 分 ■ディレイタイマー 0/3 秒(外部機器連動用) BUSY 出力 3 秒後、音声出力																													
適用エディタソフト	エディタソフト VoiceNavi Editor1J/2J (XP/2000 版) 無償 WEB 配布 または VoiceNavi Announcer 2J CD 内収録 (XP/2000 版)																													
付属品	CF カード 256MB 1 枚																													
オプション	Flash カード「コンパクトフラッシュ」 128/256MB (メーカー・型式指定有) WAV-EIA210S 補助金具 EIA ラック収納 1 台用 WAV-E/2S 補助金具 EIA ラック収納 2 台用 WAV-LKANAGU L 金具 (本体固定する場合) エディタソフト ソフト単体 VoiceNavi Editor CD-ROM 版 または無償 WEB 配布 パック版 VoiceNavi Editor (USB カードアダプタ付) <テキスト入力>音声データ作成ソフト ソフト単体 VoiceNavi Announcer CD-ROM 版 パック版 VoiceNavi Announcer (カードアダプタ付)																													

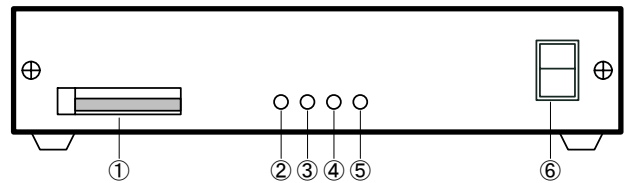
■外観図・外形寸法図



■各部の名称と機能・外形寸法図

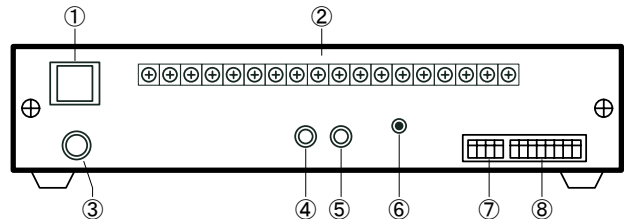
【フロントパネル】

No.	名称
1	カード挿入口
2	CARD IN LED
3	PLAY(再生中)LED
4	ALARM LED
5	POWER LED
6	POWER スイッチ



【フロントパネル】

No.		名称
1	AC IN	AC100V 電源コード
2		端子台
3	FUSE	ヒューズホルダー 0.5A
4	EX IN	LINE IN 用 PIN ジャック
5	LINE OUT	LINE OUT 用 PIN ジャック
6	SP VR	音量ボリューム
7	MODE2	モード 2 スイッチ
8	MODE1	モード 1 スイッチ



■リアパネル端子台ピンアサイン

	表示	I/O	説明
1	DC IN +	I	DC+24V(12V)電源 +
2	DC IN -	I	DC+24V(12V)電源 -
3	SP OUT +	O	スピーカー出力 +
4	SP OUT -	O	スピーカー出力 -
5	COM	I	COM
6	ALM	O	アラーム出力(CPU 異常)
7	BUSY	O	ビジー出力
8	OP(STB)	I	オプション信号入力
9	STOP	I	ストップ信号入力
10	1	I	SW1
11	2	I	SW2
12	3	I	SW3
13	4	I	SW4
14	5	I	SW5
15	6	I	SW6
16	7	I	SW7
17	8	I	SW8
18	COM	I	COM



■再生モード

モードスイッチ 1 で設定します。電源 ON 時有効になります。 (●・・・ON)

1	2	3	4	5	6	7	8	再生モード
								1 接点制御-通常再生モード (インターバル・ディレイタイマー有効)
●								2 接点制御-後入力切替再生モード
	●							3 接点制御-入力中再生モード
●	●							4 接点制御-優先順位再生モード
		●						5 接点制御-順次記憶再生
●		●						6 予備
	●	●						7 予備
●	●	●						8 予備

■ディレイタイマー(外部機器連動用) (接点制御-通常再生モード)

DIP SW で設定します。電源 ON 時有効になります。

SW1~8 の信号入力-BUSY 出力-3 秒後、音声出力します。

外部の拡声アンプや構内PHS・無線などの起動などに使用できます。

1	2	3	4	5	6	7	8	再生モード
								1 ディレイタイマー 0 秒
							●	2 ディレイタイマー 3 秒

●・・・ON

■インターバルタイマー (接点制御-通常再生モード)

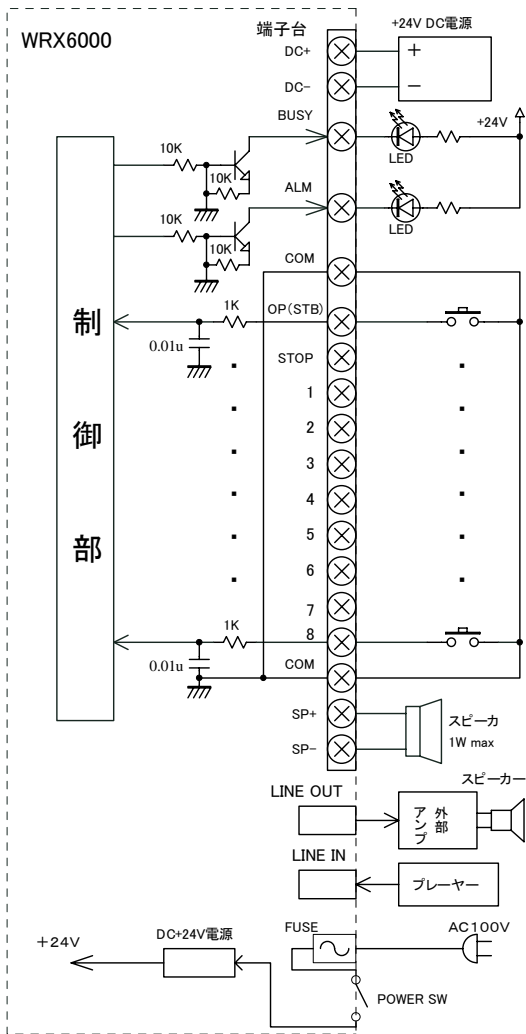
DIP SW で設定します。電源 ON 時有効になります。

各音声データ再生終了後、インターバルタイマーが作動します。

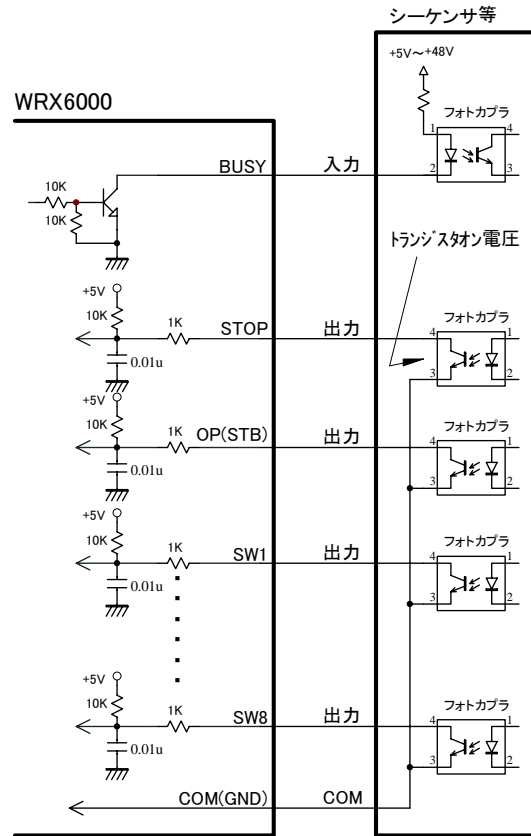
インターバルタイマー作動中は、SW1~8 の信号入力は検知しません。

1	2	3	4	タイマー
				1 インターバルタイマー 0 分
●				2 インターバルタイマー 1 分
	●			3 インターバルタイマー 2 分
●	●			4 インターバルタイマー 3 分
		●		5 インターバルタイマー 4 分
●		●		6 インターバルタイマー 5 分
	●	●		7 インターバルタイマー 6 分
●	●	●		8 インターバルタイマー 7 分
			●	9 インターバルタイマー 8 分
●			●	10 インターバルタイマー 9 分
	●		●	11 インターバルタイマー 10 分
●	●		●	12 インターバルタイマー 11 分
		●	●	13 インターバルタイマー 12 分
●		●	●	14 インターバルタイマー 13 分
	●	●	●	15 インターバルタイマー 14 分
●	●	●	●	16 インターバルタイマー 15 分

■接続参考図



[シーケンサと接続する場合]

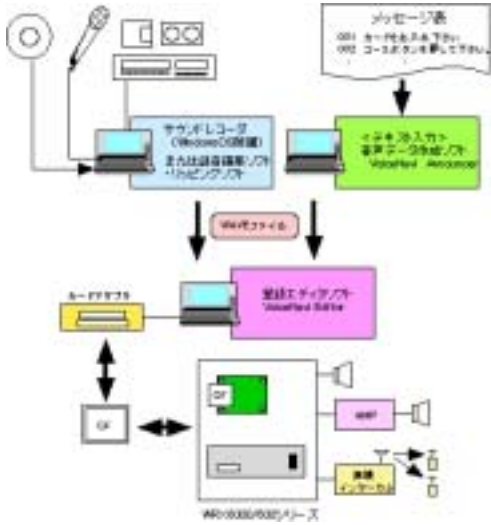


(注)
トランジスタのオン電圧が0.8V以下のものを御使用願います。
リレー出力のシーケンサは使用できません。

■音源データの録音・作成並びにカードデータの作成

WAV6000 シリーズは、自社録音または既存の音源データ(WAVE ファイル)を登録エディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)を使用してカードデータを作成する方法と WRX7000 シリーズを録音ツールとして使用する方法があります。

【登録エディタソフト VoiceNavi Editor を使用する場合】



■録音・WAVE ファイル作成

- 1.MD・DAT、マイクの場合
Windows パソコン上で録音・ファイル保存
- 2.オーディオ CD の場合
市販の録音編集ソフトまたはリッピングソフトで WAVE ファイルにリッピングし、保存します。
- 3.テキスト入力の場合
市販のテキスト音声変換ソフトまたはくテキスト入力>音声データ作成ソフトで WAVE ファイル保存。

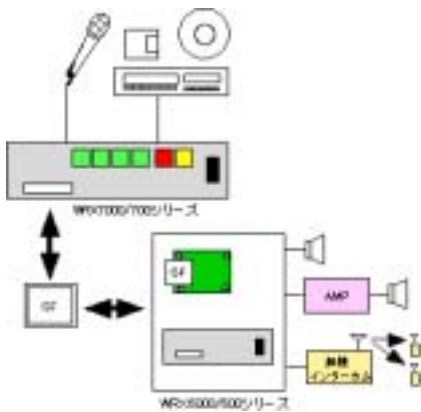
■WRX6000 シリーズ用カードデータの作成

登録エディタソフト VoiceNavi Editor で試聴しながら WAVE ファイル登録、アドレス・プログラム登録し、カードデータ作成します。

■CF カードへコピー

作成したカードデータをカードアダプタ経由でコピーします。

【WRX7000 シリーズを録音ツールとして使用する場合】



■録音

WRX シリーズで MIC またはライン入力で録音します。

- WRX7200 II 4CHmax
- WRX7700 II 8CHmax.
- WRX7700 II 16CHmax.

CF カードにはリアルタイムで PCM データで録音、WAVE ファイル形式で記録します。

WRX シリーズで録音したカードデータも登録エディタソフト VoiceNavi Editor で読み込みできます。

また録音した CF カードのデータはパソコンで CD や DVD にバックアップして保存して下さい。

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。